証明書発行マニュアル

(Export 可能)

 \ll Windows 8.1, InternetExplorer \gg

2018年3月14日

セコムトラストシステムズ株式会社

改版履歴				
版数	日付	内容	担当	
V.1.00	2012/12/26	新規作成	STS	
V.1.10	2013/6/11	セキュリティレベルの設定画面削除、Key 長画面表示	STS	
		の変更		
V.1.20	2014/2/21	Windows 8.1、Internet Explorer 11 の追加	STS	
V1.30	2018/3/14	Windows 8、Internet Explorer 10 の表記削除	STS	
		文言修正	313	

目次

1.	はじめに	1
	証明書の発行(ダウンロード)手順	
3.	証明書のエクスポート(バックアップ作成)	14
4.	バックアップ証明書のインポート(インストール)	19
付錄	录 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順	26
付銀	录 B. ブラウザの設定	32

1. はじめに

本マニュアルは、弊社認証サービスにおける、証明書の発行操作を行うお客様向けの操作マニュアルになります。 尚、本マニュアルの操作手順は Microsoft Windows 8.1 Professional の Internet Explorer 11(以下 IE11)を使用して作成しております。

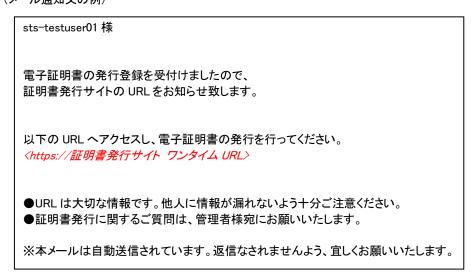
対応 OS、ブラウザ:

os	Windows 8.1 Professional
	Windows 8.1 Enterprise
	Windows 8.1
	※Windows To Go機能につきましては、動作保証対象外です。
	※Windows8.1 RT につきましては、動作保証対象外です。
ブラウザ	Internet Explorer 11

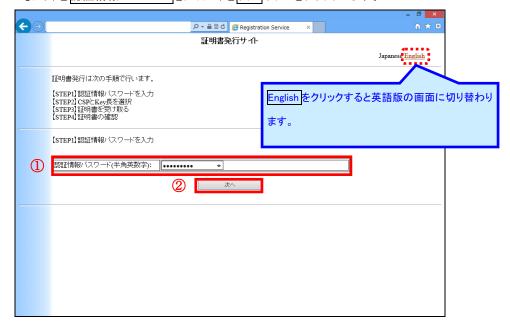
2. 証明書の発行(ダウンロード)手順

証明書の発行操作について記載します。なお、証明書を発行する際には認証情報パスワードが必要になります。

- ※ 認証情報パスワードは、証明書をご利用になるサービスの提供元にご確認ください。
 - (1) 証明書を発行するお客様宛に証明書発行サイトの URL がメールで通知されます。 (メール通知文の例)



(2) <u>証明書発行サイトワンタイム URL</u>にアクセスすると、次の画面が表示されます。証明書発行サイト画面【ステップ 1】より、①認証情報パスワードを入力し、②次へボタンをクリックします。



※ アクセス時、以下のような画面が下部に表示される場合は、① 許可(A)ボタンをクリックします。

この Web サイトは、'Microsoft Corporation' からの '証明書の登録コントロール' アドオンを実行しようとしています。

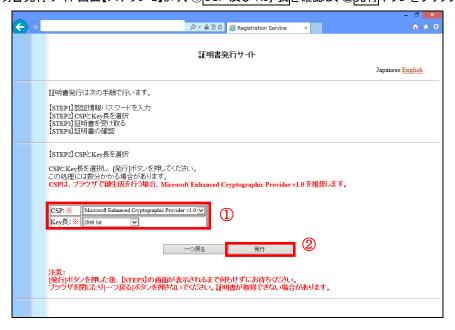
許可(A) ボタンをクリックします。

本本

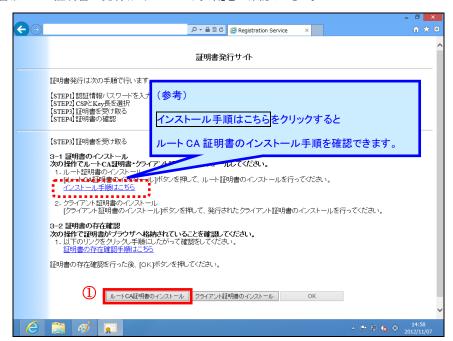
(3) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



(4) 証明書発行サイト画面【ステップ 2】より、①CSP 及び Key 長を確認し、②発行ボタンをクリックします。

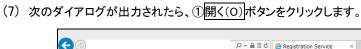


- (5) 証明書発行サイト画面【ステップ 3】では、はじめにルート CA 証明書をインストールするため、 ①ルート CA 証明書のインストールボタンをクリックします。
- ※ <u>ルート CA 証明書をインストールできない環境でご使用される場合は、本マニュアル「付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順」をご確認ください。</u>



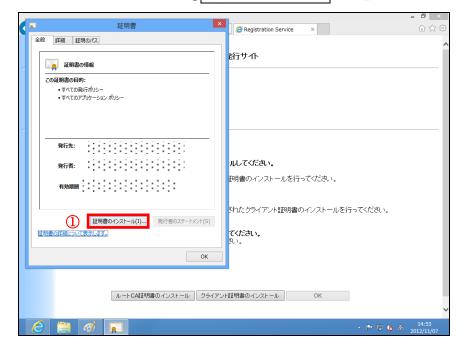
(6) 次のダイアログが出力されたら、①ファイルを開く(O)ボタンをクリックします。



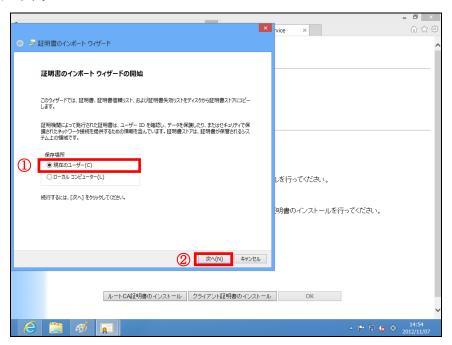




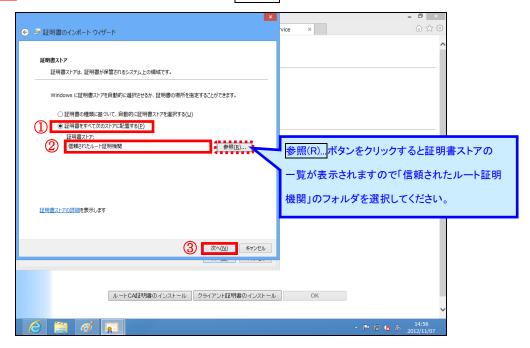
(8) ルート CA 証明書が表示されますので、①証明書のインストール(I)....ボタンをクリックします。

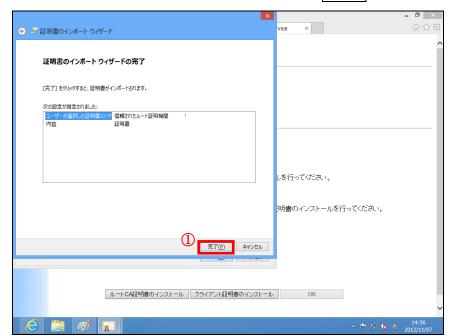


(9) 証明書のインポートウィザードが開始しますので、①現在のユーザ(C) を選択して、②次へ(N)ボタンをクリックします。



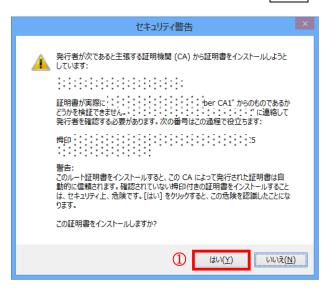
(10) ①証明書をすべて次のストアに配置する(P)をチェックし、②証明書ストアが「<mark>信頼されたルート証明</mark> 機関」になっていることを確認します。その後、③次へ(N) ボタンをクリックします。





(11) 証明書のインポートウィザードの完了画面が表示されますので、①完了(E)ボタンをクリックします。

(12) ルート CA 証明書インストール時の確認画面が表示されますので、①にい(Y)ボタンをクリックします。

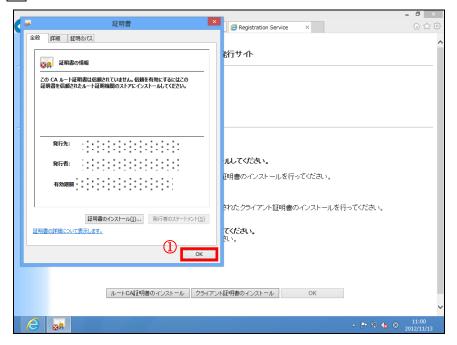


※空白の欄には、該当の証明書の発行者の発行者名(CA 名称)等が表示されています。

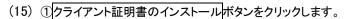
(13) ①OK ボタンをクリックします。



(14) ①OK ボタンをクリックします。



以上で、ルート CA 証明書のインストール(インポート)が完了しました。 次に、クライアント証明書のインストールを行います。

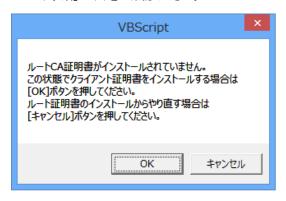




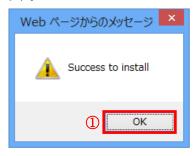
(16) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



※ 以下のダイアログが表示される場合は、何らかの理由により、<u>ルート CA 証明書がインストールされていない</u>可能性があります。お客様内の管理者にブラウザの設定をご確認ください。企業ポリシー等で、 ルート証明書のインストールが禁止されている場合は、本マニュアル「付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順」の(3)をご確認ください。



(17) クライアント証明書のインストールが完了すると、次のダイアログが出力されます。①OK ボタンを クリックして、ダイアログを閉じます。

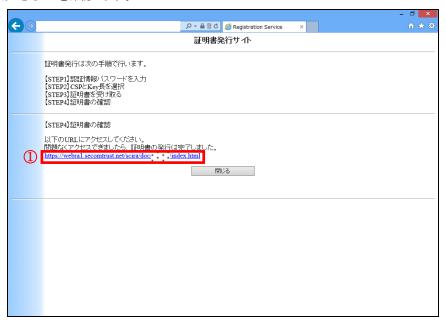


以上でクライアント証明書のインストール手続きは完了となります。

(18) ①OK ボタンをクリックします。



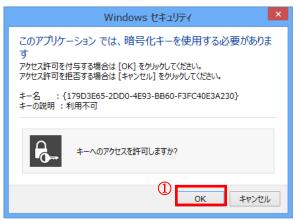
(19) 証明書発行サイト画面【ステップ 4】より、①<mark>証明書確認ページ URL</mark>をクリックし、証明書が利用できることを確認します。







(21) ①OK ボタンをクリックします。





(22) 以下の画面が表示されれば、証明書が正しくインストールされ、証明書を利用できる状態です。

ブラウザを閉じて処理を終了します。

以上で、証明書の発行(ダウンロード)は完了しました。

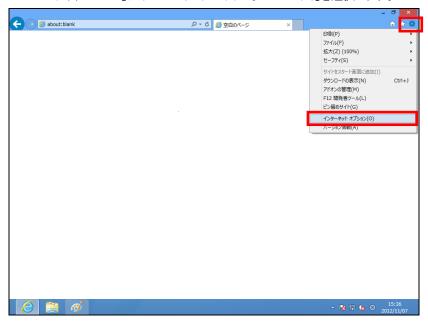
インストールした証明書のバックアップを行う場合は、次の「3. 証明書のエクスポート(バックアップ作成)」をご確認ください。

3. 証明書のエクスポート(バックアップ作成)

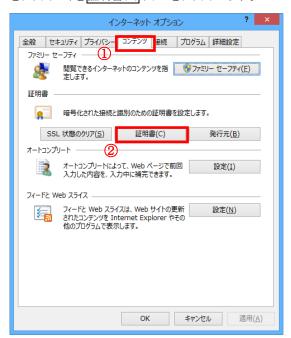
証明書のエクスポート(バックアップ作成)操作について記載します。

※エクスポートとは、バックアップの意味です。

(1) IE 11 のメニューより、「ツール」アイコン-「インターネットオプション(O)」を選択します。



(2) ①コンテンツのタブをクリックし、②証明書(C)ボタンをクリックします。



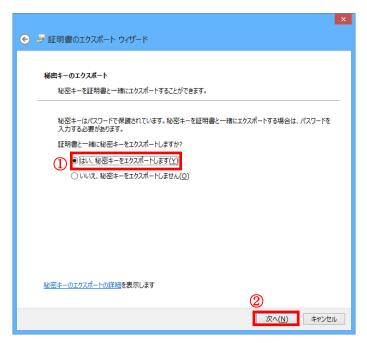
(3) ①個人タブをクリックし、②インストールした本人の証明書をクリックし、③エクスポート(E)…ボタンをクリックします。



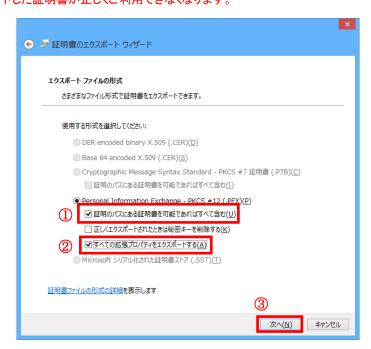
(4) 証明書のエクスポートウィザードが開始されますので、①次へ(N) ボタンをクリックします。



(5) 秘密キーのエクスポート画面にて、①はい、秘密キーをエクスポートします(Y)を選択し、②次へ(N) ボタンをクリックします。



- (6) エクスポートファイルの形式の選択画面にて、①証明のパスにある証明書を可能であればすべて含む(U) と②すべての拡張プロバティをエクスポートする(A) を選択し、③次へ(N) ボタンをクリックします。
 - ※ご注意 **正しくエクスポートされたときは秘密キーを削除する**は選択しないでください。 ダウンロードした証明書が正しくご利用できなくなります。

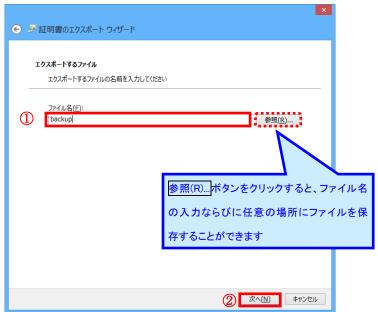


(7) ①パスワード(P) の欄に任意でパスワード決めて入力してください。②パスワードの確認入力(C) の欄に同じパスワードを入力します。③次へ(N) ボタンをクリックします。

※ご注意 このパスワードを忘れますと、エクスポートした証明書が使用できなくなります。



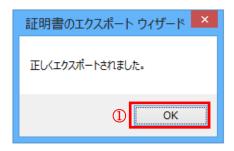
- ●パスワードは4文字以上で他の人に推測されにくいものを入力されることを推奨します。
- ●パスワード入力可能文字: 半角英数字 スペース!"#\$%&'()~|{}_?><
- (8) ①ファイル名(F)にエクスポートファイルの名前を任意の<u>半角英数字</u>で入力してください。入力後、②次へ(N) ボタンをクリックします。保存場所を指定しない場合は、デスクトップに保存されます。





(9) 証明書のエクスポートウィザードの完了画面が表示されますので、①完了ボタンをクリックします。

(10) 以下のダイアログが表示されますので①OK ボタンをクリックします。



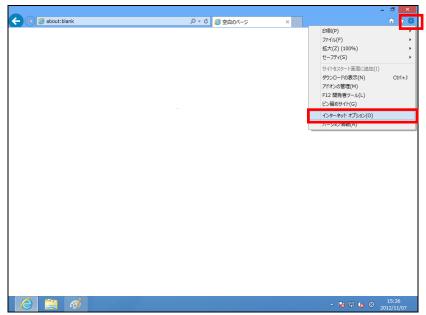
以上で、証明書のエクスポート(バックアップ作成)は完了しました。 エクスポートした証明書は、安全な場所に保管してください。

次に、バックアップした証明書を再度利用するときのインストール手続きについて説明します。

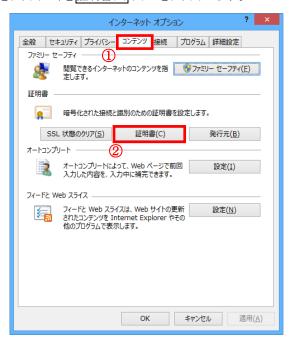
4. バックアップ証明書のインポート(インストール)

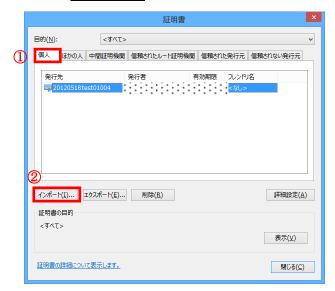
他の PC で証明書を使用したい場合や、証明書を削除してしまった場合に、予めエクスポート(バックアップ)しておいた証明書をインポートすることにより、同様の証明書を利用することができます。

(1) IE 11 のメニューより、「ツール」アイコン-「インターネットオプション(O)」を選択します。



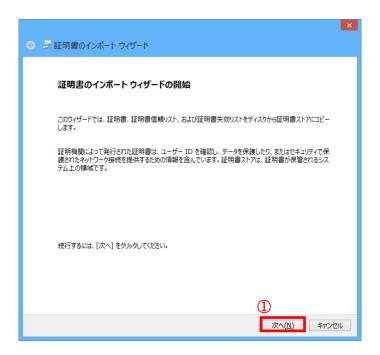
(2) ①コンテンツのタブをクリックし、②証明書(C)ボタンをクリックします。



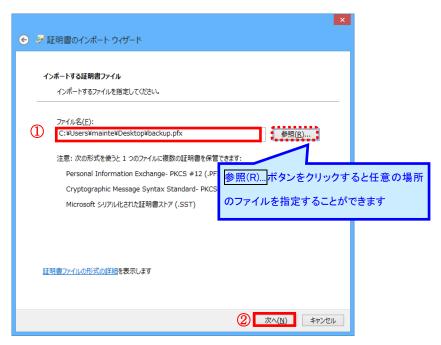


(3) ①個人のタブをクリックし、②インポート(I)…ボタンをクリックします。

(4) 証明書のインポートウィザードが開始されますので、①次へ(N) ボタンをクリックします。



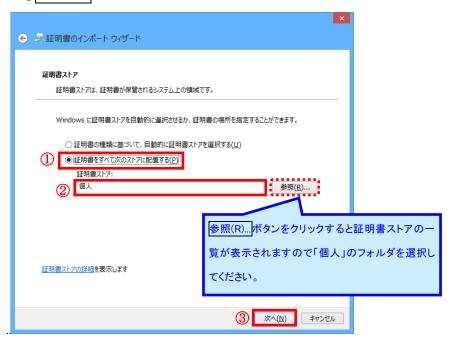
(5) ①ファイル名(F): にバックアップした証明書までの絶対パスを指定して、②次へ(N) ボタンをクリックします。



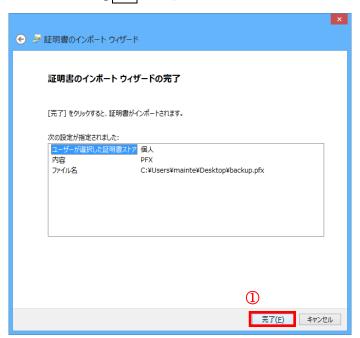
(6) ①パスワード(P):の欄に、エクスポート操作時に設定をしたパスワード(本マニュアル「3. 証明書のエクスポート(バックアップの作成)」の手順(7)参照)を入力してください。②すべての拡張プロパティを含める(A)をチェックし、他2つは必要に応じてチェックしてください。③次へ(N) ボタンをクリックします。



(7) ① 証明書をすべて次のストアに配置する(P)をチェックし、② 証明書ストア が「個人」になっていることを確認します。その後、③ 次へ(N) > ボタンをクリックします。



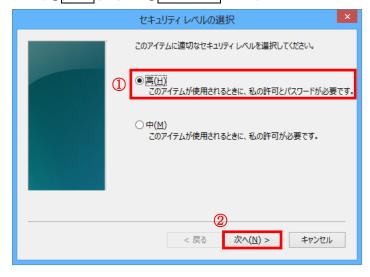
(8) 以下の画面が表示されますので、①完了ボタンをクリックします。



(9) 本項(6)で[秘密キーの保護を強力にする(E)]にチェックを入れた場合、次の画面が表示されます。 ①セキュリティレベルの設定(S)…ボタンをクリックします。



(10) セキュリティレベルを①高(H)を選択し、②次へ(N) > ボタンをクリックします。



(11) ① パスワード:の欄に任意でパスワード決めて入力します。② パスワード確認入力:の欄に同じパスワードを入力します。③完了(F)ボタンをクリックします。

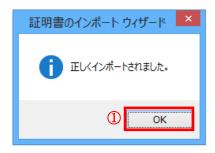
※ご注意 このパスワードを忘れますと、インストールした証明書が使用できなくなります。



- ●パスワードは4文字以上で他の人に推測されにくいものを入力されることを推奨します。
- ●パスワード入力可能文字: <u>半角英数字 スペース!"#\$%&'()~|{}_?></u><
- (12) ①OK ボタンをクリックします。



(13) ①OKボタンをクリックします。



以上で、バックアップ証明書のインポートは完了しました。

付録 A. ルート証明書無しでの証明書の発行(ダウンロード)手順

ルート CA 証明書をインストールできない環境でご使用される場合の証明書の発行手順を記載します。

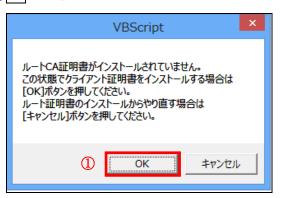
- (1) 証明書発行サイト画面【ステップ 3】では、クライアント証明書をインストールするため、 ①クライアント証明書のインストールボタンをクリックします。
 - ※ <u>ルート CA 証明書をインストールできる環境</u>でご使用される場合は、本マニュアル「2. 証明書の発行 (ダウンロード)手順」をご確認ください。



(2) Web アクセスの確認ダイアログが出力されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



(3) ルート CA 証明書がインストールされていないことを注意するダイアログが表示されます。この状態でインストールを続ける場合は①OK ボタンをクリックします。



(4) 次のダイアログが出力されたら、①保存(S)ボタンをクリックします。

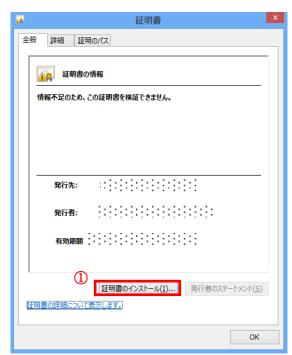






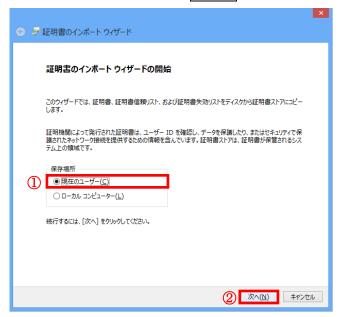
(6) セキュリティの警告ダイアログが表示されますので、①開く(O)ボタンをクリックします。



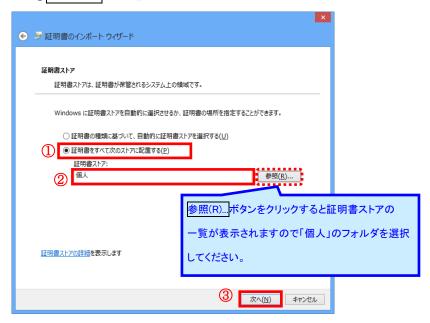


(7) クライアント証明書の情報が表示されますので、①証明書のインストール(1)...ボタンをクリックします。

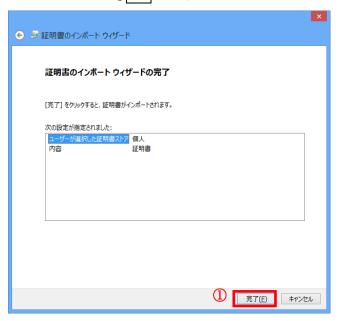
(8) 証明書のインポートウィザードが開始されるので、①次へ(N) ボタンをクリックします。



(9) ①証明書をすべて次のストアに配置する(P)をチェックし、②証明書ストアが「<mark>個人</mark>」になっていることを確認します。その後、③次へ(N) > ボタンをクリックします。



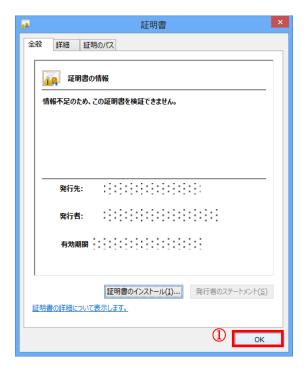
(10) 以下の画面が表示されますので、①完了ボタンをクリックします。



(11) ①OKボタンをクリックします。



(12) ①OK ボタンをクリックします。



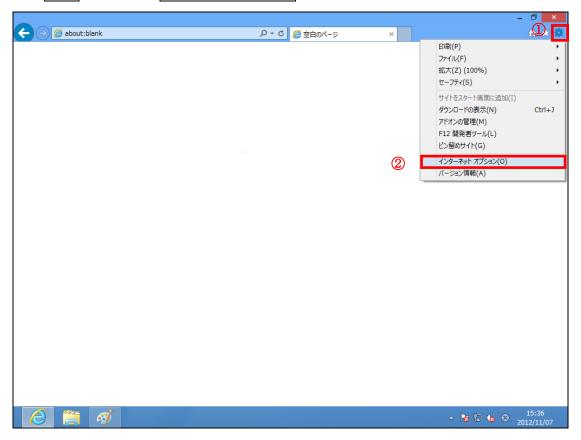
以上で、ルート CA 証明書をインストールできない環境での証明書のインストール手順は終了です。

インストールした証明書の確認手順は、本マニュアル「2. 証明書の発行(インストール)手順」をご確認ください。

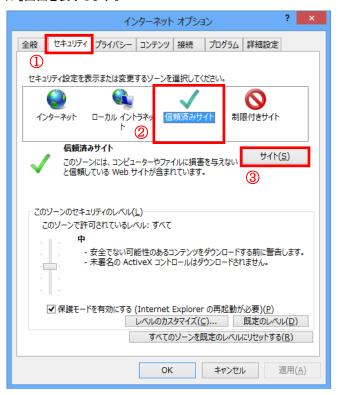
付録 B. ブラウザの設定

本マニュアル「2. 証明書の発行(ダウンロード)手順」にて証明書の発行が行えない場合は、お客様ごとのセキュリティポリシ等により、個別にブラウザのセキュリティ設定を行われていることが考えられますので、証明書の発行前に次の設定をご確認下さい。

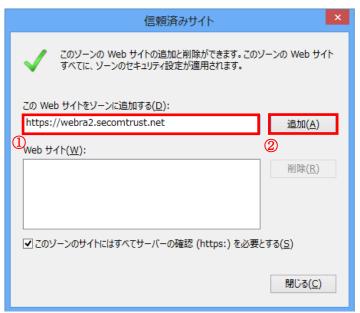
- (1) IE 11 を起動します。
- (2) ①ツールメニューより、②インターネットオプション(O)を選択します。



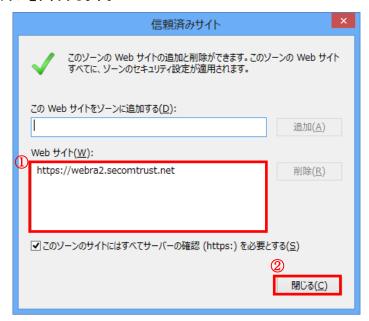
(3) ①セキュリティのタブをクリックし、②信頼済みサイトをクリックします。その後、③サイト(S)ボタンをクリックし、「信頼済みサイト」画面を表示します。



(4) この Web サイトをゾーンに追加する(D)に「https://webra2.secomtrust.net」を入力し、②追加(A)ボタンをクリックします。



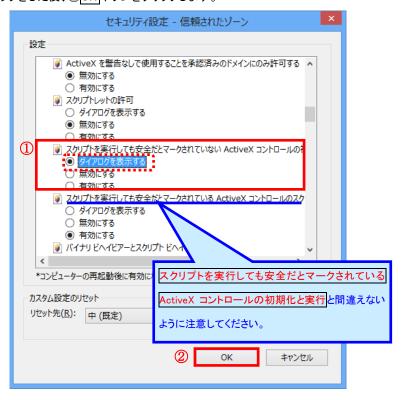
(5) ①Web サイト(W) に「https://webra2.secomtrust.net」が表示されることを確認します。確認した後、②閉じる(C)ボタンをクリックします。



(6) ①レベルのカスタマイズ(C)...ボタンをクリックします。



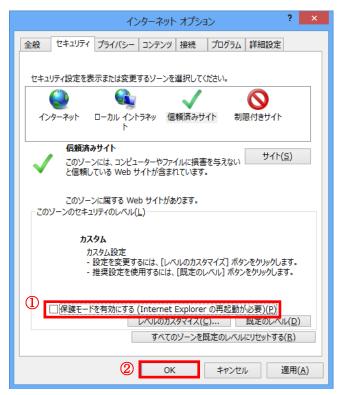
(7) 「セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン」画面をスクロールし、①スクリプトを実行しても安全だとマークされていない。ActiveX コントロールの初期化とスクリプトの実行を表示して、ダイアログを表示するのチェックボックスにチェックをした後、②OKボタンをクリックします。



(8) 以下の警告画面が表示されますので、①はい(Y)ボタンをクリックします。



(9) ① 保護モードを有効にする(Internet Explorer の再開が必要)(P)のチェックを外し、②OK ボタンをクリックします。



(10) IE を再起動します。

以上でブラウザの設定は完了となります。

※なお、この設定は証明書発行に対してのみ必要であるため、発行作業終了後は元に戻していただいて問題ございません。